

能登半島地震からの復興を、飲んで応援 能登の酒を止めるな！PJ 始まる

4月1日（水）～21日（火）/大丸東京店地階食品和洋酒売場

大丸松坂屋百貨店は「能登の酒を止めるな！」プロジェクトに賛同し、4月1日（水）～大丸東京店を皮切りに全国9店舗でポップアップショップを順次展開します。

大丸東京店では4月1日（水）～5日（日）に能登町鶴野酒造店から来店した鶴野晋太郎氏、4月15日（水）～19日（日）は能登町松波酒造から来店した金七聖子氏による試飲会を行い、酒造りや復興への思いをお伝えする予定です。

能登の酒を止めるな！プロジェクトとは

2024年1月1日に発生した能登半島地震をきっかけに立ち上がった、能登の酒蔵の酒造りと流通を未来につなげるための取り組みです。共同醸造（被災により酒造りが困難となった蔵元と他の蔵元が連携し、銘柄の設計思想や味わいを共有しながら別の蔵で醸造を行う取り組み）という手法を軸に、応援購入、情報発信、流通支援を組み合わせることで「造れなければ終わる」「売れなければ次がない」という酒蔵の現実に向き合いながら、復興を支援する仕組みです。大丸松坂屋百貨店では「飲むことが応援になる。」ことをお客様と分かちあいながら能登の酒と復興への歩みを全国に届けていきます。

〈鶴野酒造店〉鶴野晋太郎氏 4月1日(水)～5日(日)

石川県能登町にある1789年創業の歴史ある酒蔵。代表銘柄は「谷泉」と「登雷」で、能登の風土に根差した酒造りを、杜氏である鶴野薫子さんを中心に兄妹で継承、伝統的な手法と、地元の水や米を活かした丁寧な酒造りで知られています。地震の影響で、酒蔵と併設店舗、住居が全壊しました。壊滅的な被害を受けましたが、「谷泉の味を残したい」という強い意志のもと、全国の酒蔵の協力を得た委託醸造で酒造りを継続しています。



〈松波酒造〉金七聖子氏 4月15日(水)～19日(日)

明治元年、1868年創業した能登町松波地区にある、酒蔵。能登杜氏による「極寒仕込み」と呼ばれる伝統的な手法で、「大江山」などを製造しています。地震により、築150年以上の歴史ある酒蔵と店舗が全壊。地元での再建を目指し、他蔵での受託醸造を経てブランドを継承。震災から1年8か月が経過した2025年9月には、酒蔵の跡地にトレーラーハウスの仮設店舗をオープンさせ、松波の地で営業を再開しました。



【取材に関するお問い合わせ先】大丸松坂屋百貨店 大丸東京店 首都圏 PR 広報(宮川・榎本)

TEL 050-1782-0000(大代表)